

境町の開発事業に 協力企業2社決定

境町の猿山・蛇池地区開発事業地権者協議会（関稔会長）は5日、同地区の開発計画を提案していた大洋（水戸市）とフクダ・アンド・パートナーズ（東京都中央区）を協力企業に決定したと発表した。同地区には流通施設設置を予定して

おり、2021年の立地を目指して今後、地権者との具体的な協議に入る。

同地区の開発地は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）境古河インターチェンジから北側約500メートルに位置する市街化調整区域。面積は約10・6畝で、国道354号バイパスと県道結城野田線に接している。